

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスSANPO龍見教室
------	---------------------

公表日 2026年2月13日

利用児童数 2025/12/26現在 2 1 名 回収数 1 4 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				学習スペースと体を動かすスペースが しっかり分かれているのは良いと思う	お子様のその日の状態や活動内容に応じて、最適な空間を選んで活動を行っています。1階では課題に集中する時間や調理実習、作業療法士による専門的な支援など、活動に合わせて部屋を使い分けています。2階のブレイルームでは近隣への騒音を考慮し、大きな音が出る活動は控え、落ち着いて取り組める空間づくりを心がけています。その日の様子や活動の目的に沿って適切な部屋を選び、安心して過ごせるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14					国の人員配置基準に加え、専門的支援を行うため作業療法士も配置しています。豊富な保育士の経験を生かし専門性の高い支援をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		2		2階建てで、室内の階段を使用しています。階段の出入口にはドアを設置し、お子様の指はさみなどの事故防止のため、使用しない時間は施錠しています。階段の昇降時には必ず手すりの使用を促し、支援員を配置して安全確保を徹底しています。また、玄関がガラス扉のため、外から室内が見えないよう、お子様が来所中はロールカーテンで目隠しをしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					日々の清掃や整理整頓を徹底しており、お子様達が安心して過ごせる清潔で心地よい環境づくりに努めています。また、活動内容に合わせてスペースの使い方を柔軟に変えられるよう工夫しており、運動遊び・創作活動・学習など、それぞれの目的に合った空間設定ができていてと感じています。今後もお子様の特性や日々の様子に合わせて、より過ごしやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					アセスメントを丁寧にを行い、お子様や保護者のニーズや課題を把握したうえで計画を作成しています。職員会議を通じて、お子様の発達に合わせた活動内容を検討しています。プログラムが固定化しないよう、作業療法士による専門的な支援を取り入れたり、お子様の発達段階や活動の様子に応じて内容を工夫しています。また、外部講師を招くことで、活動内容の充実を図っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					室内で粗大運動を実施することは難しい現状です。お子様の姿勢保持や運動動作の発達を促すため、環境を工夫しながら支援を行っています。公園に出向いて総合遊具を使用した活動を行ったり、鬼ごっこやリレーなどルールを設定した体を使う遊びを取り入れています。また、学区内の児童館を利用し、遊戯室でボール遊びやうんていにも取り組んでいます。今後も、5領域を基本に多面的な支援を継続し、お子様が楽しみながら成長できる環境づくりを徹底してまいります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					お子様一人ひとりの様子や特性を十分に理解した上で、職員全員で情報を共有・検討し、客観的な視点からニーズや課題を分析しております。保護者様からのアセスメントでいただいた情報を大切に反映しながら、児童発達支援管理責任者が個別支援計画を作成し保護者、担当の専門員に周知しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					ガイドラインで示されている「本人支援・家族支援・移行支援」に基づき、必要な支援項目を5領域のアセスメントから適切に設定しています。 その上で、個別支援計画に具体的な支援内容（生活・運動・コミュニケーション・社会性等）を明確に位置付け、日々の活動で実施しています。 保護者との相談支援や家庭との情報共有を継続し、家庭支援も計画的に実施しています。また、学校や地域との連携を行い、進学や地域活動への参加など移行支援にも取り組んでいます。 これらをガイドライン第4章の計画作成・評価に沿って見直し、継続的に質の向上を図っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1		日々の活動を通して計画的かつ継続的な支援を行っています。 お子さま一人ひとりの特性や発達段階に応じて活動内容を調整し、社会性の向上やコミュニケーション能力の育成、生活動作の自立、情緒の安定など、計画書に示された支援項目に沿って支援を提供しています。 また、支援の様子やお子さまの変化については定期的に観察・記録を行い、必要に応じて支援方法や計画の見直しを行うことで、一貫性のある質の高い支援につなげています。 さらに、保護者の方とも適宜情報を共有し、家庭・学校・事業所が連携して目標達成に向けた支援体制を整えています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			毎月、毎回本当に色々なことをやって帰ってくるのでありがたいです	活動プログラムが固定化しないよう常に工夫を重ね、お子様一人ひとりの発達段階や特性に合わせた支援を行っています。 小集団での活動では社会性や協調性を育み、個別支援ではその子に合わせた目標に向けて丁寧に取り組みます。 また、外部講師を招聘することで専門的な活動の幅を広げ、課外活動も積極的に取り入れることで、地域との関わりや多様な体験を通した学びを大切にしています。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	1	6	別の放デイとの交流は何回あるので他の児童館との交流が必要とは思わない	今年度の夏休みには竹屋児童館を数回利用させて頂きました。夏休み期間中に在籍していたお子様については保護者の方に児童館利用に関する書類をご記入いただき、竹屋児童館へ提出しております。近隣の公園については利用者が多い場合や活動内容によっては利用を控えることもあります。必要に応じて活用しています。今後も地域のお子様達との交流を大切にしながら、楽しく安全な活動を続けて参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					契約時に運営規程・支援プログラム・利用者負担等についてご説明しております。もし再度説明をご希望の場合は、いつでもお知らせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				必要に応じて保護者の方と面談を行い、支援内容の説明を実施しています。直接お会いすることが難しい保護者の方には、お手紙や公式LINEを通じて計画内容や支援の様子をお伝えするなど、情報共有に努めています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	1	3	研修のお知らせなどあったような気がします	家族支援の一環として、保護者向けの研修会や情報提供の機会を設けています。具体的には、定期的に研修案内を行い、保護者が参加できるプログラムを案内しています。ペアレント・トレーニングのような専門的なプログラムは現時点では実施していませんが、今後のニーズに応じて検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14				ごまめに写真を送って下さるのでどんなことをしたのかよくわかります	お子様の活動の様子や活動場面の写真を公式LINEでお送りしています。ご家庭での様子や最近の変化なども教えていただき、教室とご家庭で連携してお子様の発達支援をより効果的に進められるよう努めています。また必要に応じて保護者に来所いただき、支援員と面談を行い情報を共有しながら連携を図っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3		1		必要に応じてお子様の様子に合わせて保護者に来所いただき、支援員と一緒に考えながら発達支援の情報共有を行っています。また、令和7年度の終わりには希望される保護者同士が交流できる集いも計画しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					私たちはお子様の自立を大切にしながら、家族のように温かく寄り添える存在でありたいと考えています。家庭でも学校でもない第三の場所だからこそ、安心して甘えられたり、客観的な視点で成長を見守れたり、ときには距離をとって自分で挑戦できるよう支えることができます。お子様たちにとって「ここに来れば大丈夫」と思える場所でありたい。そんな関係性を築きながら、一人ひとりの自立へ向かう力を育てていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6	4	3	1	保護者会はないが兄弟含めた活動が年2回あり交流する良い機会になっている	現時点で保護者会を設けておらず、今後も定期的な保護者会を新たに設置する予定はありません。しかし保護者同士のつながりをつくる機会を大切にしており、年2回の家族参加型イベント(田植え・稲刈り)を継続して開催しています。これらの活動は、保護者同士が自然に交流し、きょうだいの含めた家族で参加できる良い機会となっています。また今年度は保護者の方々が意見交換できる時間を設ける予定で、より一層コミュニケーションが深まる取り組みを進めています。今後は、地域で行われるイベントへ参加したり、区の育成会や保護者会が実施する定例会や研修などの情報も保護者の方々へお知らせできるように情報を得たいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				相談員さんを紹介してもらい継続的な支援を受けている	お子様やご家族からの相談や申入れについては、対応できる体制を整えており、お子様や保護者に対して、そのような場があることを日頃から周知・説明しています。相談や申入れがあった際には、迅速かつ適切に対応することを大切にしています。弊社内に相談支援センターがあり、状況によっては相談支援員を付けていただけるよう依頼を行っています。必要に応じて広島市中区自立支援協議会に相談し、関係機関と連携した対応を取っていただくこともあります。さらに、保護者面談(対面・オンライン・ご自宅訪問)を実施し、保護者支援も行っています。ご家庭での困りごとと一緒に検討したり、他の福祉サービスの利用をお勧めしたりするなど、保護者と協力しながら支援を進めています。また、お子様と児発管との個別面談も順次行っています。お子様自身が困っていることや認めてほしいことを自分の言葉で伝えられる機会を大切にし、その経験を通して自己肯定感を育み、「自分には味方がいる」という安心感につながり、成長を支援したいと考えています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					お子様や保護者の思いを丁寧に受け止め、一人ひとりに分かりやすく伝わるコミュニケーションを心がけながら、安心して相談できる信頼関係づくりと必要な情報の確実な共有に努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14					SA-N-PO鶴見教室では、SANPO庚午教室と合同のInstagramアカウントを運用しており、活動概要・行事予定・連絡体制・自己評価の結果等を定期的に発信しています。ご利用日にはお子様の様子や写真を保護者宛てに公式LINEでお送りしています。また、年に数回、お便りを作成し、データまたは書面で配布しています。保護者や関係者が最新情報に随時アクセスできるよう努めています。透明性のある情報共有と、安心して利用いただける環境づくりを心がけています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					個人情報の適切な管理に努めています。個人情報が記載された書類については、鍵付きキャビネット等の施錠できる保管庫にて安全に管理しています。不要となった書類はシュレッダーにかけたり、機密文書として産業廃棄物業者へ処理を依頼し、外部への情報漏えい防止に努めています。また、SNS等への写真掲載については、保護者の方から掲載許可をいただいた方のみを対象としており、無断での公開は一切行っていません。さらに、当施設は玄関先から室内が見えやすい構造となっているため、お子様が来所された後はロールカーテンを開け、施設内のプライバシーが確保されるよう配慮して過ごしています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		1	緊急時対応マニュアル（虐待防止、衛生管理、BCP、事故防止など）を現在保護者へ配布しています。支援員間で内容を共有し、緊急時に備えています。マニュアルに沿って支援を実施し、不足している内容については随時振り返り、再発防止に努めています。また、日々発生するヒヤリハット事案についても振り返り、再発防止に取り組んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			3	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練（火災・地震・水害等）を実施しており、お子様の救出手順も含めて訓練を行っています。また、大雨・洪水・警報発令時などの対応については一覧表を作成し、開所・閉所の判断基準を含めて保護者へ適宜配布しています。災害発生時には、その都度、開所状況やお子様の安全確保に関する情報を保護者へ速やかに周知しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				日々の支援の中でお子様の安全を最優先とするため、毎日職員間で安全管理について協議を行っています。万が一、危険が生じた場合には、速やかに保護者の方へ状況と対応を共有するとともに、事業所間でも振り返りを行い、再発防止に向けて改善に取り組んでいます。また、ご家庭でもお子様と一緒に振り返りをさせていただくことで、共通理解を深め、より安全な環境づくりにつなげています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者の方へご連絡し、発生時の状況・職員の対応内容・今後の再発防止策について丁寧にご説明しています。また、必要に応じて当日の様子を写真や書面でご報告することもあります。病院受診の必要があると判断した場合は、事業所で状況を確認した上で判断したり、保護者の方へお電話してご相談のうえ対応を決定しています。これらの取り組みについては、公式LINE等を通じて保護者の皆さまへ随時周知し、安心してご利用いただけるよう努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14				自分を出して安心して過ごしているようです お子様一人ひとりの性格や情緒、そして発達特性にしっかりと寄り添いながら、日々の時間を大切に過ごしていきたいと考えています。たとえ失敗を経験しても、その体験を次の成功につなげられるようにサポートし、活動内容を工夫しながらさまざまな経験を積める環境をつくっていきます。お子様が興味のあることは存分に伸ばし、同時に苦手なことにも無理なく前向きに取り組めるよう、一人ひとりに合わせた支援を大切にしていきます。また、お子様たち自身が意見を発信できるような、家族のようにあたたかくアットホームな雰囲気づくりを心がけ、安心して自分らしさを発揮できる居場所を目指します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14				また行きたいと言ってくれるので親としてもうれしいです。楽しいプログラムが多いおかげだと思います いつもご利用いただきありがとうございます。お子様も保護者の方も安心して通えるSA-N-PO鶴見教室を目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				お子様と保護者の方との信頼関係を大切にし、さまざまな機関と連携を図りながら、今後もより良い発達支援を行って参ります。サービス提供時間等につきましては、保護者の就労状況や育児レス/バイトの必要性に応じて、可能な範囲で検討させていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。